

保護者様

令和3年9月7日

たかつき保育園

＊感染症情報＊

保育園で、ヘルパンギーナと診断されたお子さんがいます。夏に流行する感染症です。また、コロナウイルス感染症の蔓延防止重点措置期間です。引き続き手洗い、うがい、マスクの着用、三密をさけて、体調の変化に気を付けてましょう。また、気温の変化が激しい季節です。体調を崩しやすい季節のため、規則正しい生活に心がけましょう。

ヘルパンギーナとは・・・乳幼児の間で流行しやすい夏かぜの一種で、38～40度の高熱が2～3日続きます。のどの奥に小さな水ぶくれができます。これがすごく痛いので、飲んだり、食べたりができなくなることもあります。水分が十分にとれないと、脱水症になることもあります。

《感染経路》飛沫、接触感染、経口感染

《潜伏期間》3～6日 ・ウイルスの排出は呼吸器からは1～2週間、便からは数週から数か月見られる。

《症状》突然の発熱、咽頭痛がみられる。咽頭に赤い発疹がみられ痛みを伴うことが多く、食欲不振や不機嫌、よだれが多くでます。

《治療》有効な治療薬はなく、対症療法になります。口の中が痛がることが多いので、食欲不振による、脱水症に注意してください。できるだけ刺激の少なく、のど越しがよいものを与えるようにしましょう。

《登園》全身状態が安定している場合は登園可能です。（熱が下がり、喉の痛みがとれ、普通に食事がとれる。機嫌がいい。）登園時は、登園許可証（保護者記入）が必要です。